

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

- ・ 校訓「強く、正しく、よく励む」の具現化をめざす。
- ・ 望ましい「かにっこ」像の実現をめざす。
 - か 輝きのある元気な子
 - に にこにこと笑いいっぱいの子
 - っ 突き進む勇気のある子
 - こ 心を込めてあいさつのできる子 そして、なかよく学び合う子

(2) 経営方針

「ちがいに響く」は宝物 ～響かせよう！蟹江のハーモニー～

- ア 生活に響く「ハーモニー」を目指して
- イ 学びに響く「ハーモニー」を目指して
- ウ 教職員が響き合う「ハーモニー」を目指して
- エ 地域・家庭と共に響く「ハーモニー」を目指して
 - 「元気いっぱい、笑顔いっぱい、工夫いっぱい」を目指す子どもと教職員の具体像に掲げ、上記スローガンを具体化したさまざまな方策を通じて、教育目標の実現を図る。

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 生活に響く「ハーモニー」を目指して
 - (ア) 自他の「いのち」を大切にする意識を育み、ちがいのある「個」を尊重し合う学校づくりを推進する。
 - (イ) あいさつ、整理整頓、規則の順守などの「凡事徹底」を通じて、互いのちがいを認め合い、他者を尊重する集団づくりを推進する。
 - (ウ) 個の特性や状況に応じた適切な指導や教育環境づくりの深化を目指して、外部諸機関との効果的な連携や研修の充実を図る。
 - (エ) 児童会・委員会活動のさらなる充実を通じて、児童が気付き・考え・実行する自治的 school づくりの実現を図る。
 - (オ) 教員によるグループ制指導の推進、各種ボランティアや地域人材との交流、異学年・たてわり活動等による多様な人とのつながりを通じて、しなやかな社会性の育成を推進する。

イ 学びに響く「ハーモニー」を目指して

- (ア) 発達段階に応じた効果的な学び方を実践し、かにっこタイムや家庭学習の活用を通じて基礎・基本の確実な定着を図る。
- (イ) 「できない」「分からない」を大切にされた授業づくりを進め、児童のつながりを生かした学び合い、支え合い、高め合いを通じて、深い学びの実現を目指す。
- (ウ) ICT やタブレット端末の活用を積極的に進め、「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現する授業づくりの研修を深める。
- (エ) 全学年で外部諸機関と連携した包括的性教育を実施することで、人権教育のさらなる深化を図る。

ウ 教職員が響き合う「ハーモニー」を目指して

- (ア) 子どもたちの「現在」と「未来」の幸せを共に願う教職員集団づくりを推進する。
- (イ) 教職員個々の多様なライフスタイル、ライフステージを互いに尊重する中で、助け合い、支え合い、相談しやすい環境づくりを推進する。
- (ウ) 現代的課題を克服するための柔軟性確保やチャレンジ精神を大切にしつつ、教職員間の多様な思いを大切にされた業務・授業改善を「チーム蟹江」一丸となって推進する。
- (エ) 見通しをもった業務計画の策定や学校環境の DX 化を積極的に推進し、職場全体での適切な勤務時間の実現を図る。

エ 地域・家庭と共に響く「ハーモニー」を目指して

- (ア) 学校だより「カラフル」の発行や学校ホームページによる情報発信、ICT の積極的活用、ボランティア活動の推進を通じて、家庭やPTA との連携を深化する。
- (イ) 地域・学生ボランティアの活用推進、かっこ子みまもり隊との連携充実、地域人材の授業協力など、「地域力」を生かした学校づくりを積極的に推進する。
- (ウ) 「地域防災」の未来の担い手として、「守られる」だけでなく「守る」ことができる人材の育成を目指した取組を推進する。